



平成 25 年 4 月 25 日

## 文学部の特徴ある授業「言語表現論」

### <概要>

文学部では、平成13年度から「創作コース」を趣旨とする「言語表現論」というシリーズの授業が設置されております。特に今年度からは、岡山出身の作家・**小手鞠るい**さんをお招きして、実践的な「小説を書くための授業」を行う予定です。

### <本文>

言語表現論は「創作コース」として、受講生から何度か作品を提出してもらい、講師が毎回それを添削・講評するという授業内容で、それを通して様々な表現創作における作り上げてゆく実感、それにとまなう喜びを、学ぶ側にも指導する側にも与えています。

言語表現論はシリーズものとして、現在次のような内容で構成されています(※年度により若干の変更があります)。

言語表現論 1 : 文章構成法

言語表現論 2 : 作品研究・評論

言語表現論 3 : 小説作法

言語表現論 4 : 詩作法

言語表現論 5 : 短歌作法

今年度は2と4は休講になりますが、1の文章構成法では、昨年度から山陽新聞社と岡山大学の提携事業の一環として、同社の記者の方に現場の話なども織り交ぜながら、文章表現の基礎を講義してもらっています。また、5の短歌作法では、受講生の中から3年連続で「若山牧水青春短歌賞」の**大賞**などの受賞者を出しており、成果を上げております(別紙①参照)。

また、今年度からは岡山出身の小説家・小手鞠るいさんをお招きして、3の小説作法を担当していただけることになりました(小手鞠さんについては別紙②参照)。自作を使いつつ、実践的に小説の書き方を教えていただく予定で、他の大学にはない“小手鞠るい創作塾”が、岡山大の授業として実現することになりました。

### <お問い合わせ先>

岡山大学大学院社会文化科学研究科 (文)

准教授 西山康一

(電話番号) 086-251-7430

(FAX番号) 同上

(メール) nishiyam@cc.okayama-u.ac.jp